

文部科学省研究開発学校指定
お茶の水女子大学附属小学校

第87回 教育実際指導研究会【対面開催】（第2次ご案内）

学 び を あ む

—新領域『てつがく創造活動』を中核とする教育課程の開発—



■主 催

お茶の水女子大学附属小学校
NPO法人お茶の水児童教育研究会

■期 日

2025年 2月14日（金）・15日（土）

■会 場

お茶の水女子大学附属小学校

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1

TEL 03-5978-5875

FAX 03-5978-5872

ホームページアドレス <http://www.fz.ocha.ac.jp/fs/>

■公開授業

国語	社会	算数	理科
音楽	図画工作	家庭	体育
外国語	食育	みがく	てつがく創造活動

ごあいさつ

本校では、民主主義社会を担う市民の育成を目指し、子ども一人ひとりが自ら主体的に学ぶための学習のあり方を、個の尊重と協働の視点から探究し続けています。

社会に目を向けると、技術革新による人工知能の飛躍的な進化やグローバル化の進展により、子どもたちのこれからを取り巻く環境は、大きく変化することが予想されます。

そこで、社会の変化と主体的に向き合う市民を育成するため、自分の思いを大切に、様々なひと・もの・こととかかわりながら新たなものを創り出し、自己を更新していくことができるようになってほしいとの願いから、2019年度より研究テーマを「学びをあむ」としました。そして、一人ひとりの思いや願いが尊重され、興味・関心や疑問を出発点に主体的に学びを進める「てつがく創造活動」を中核とし研究を進めています。この学びを支える資質・能力にも着目し「メタ認知スキル」や「社会情意的スキル」を育成する教育課程の開発を行ってきました。今年度は、文部科学省研究開発学校名目指定を受け、昨年度まで取り組んできた研究に引き続き取り組んでおります。

日頃の研究成果を多くの先生方にご覧いただき、さまざまなお立場からご意見・ご助言をいただきたいと思っております。ご多用のこととは存じますが、ご参会いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お茶の水女子大学附属小学校校長

NPO法人お茶の水児童教育研究会代表 小松 祐子

1日目 2月14日(金)

8:30	9:00	9:40	10:00	10:40	11:00	11:45	13:00	13:15	14:45	15:10	16:10
受付	学習指導 I		学習指導 II		学習指導 I II 話し合い		全体発表	課題別協議会		講演	
		食育部会協議会									

公開学習指導 14日(金)

学習指導 I 9:00-9:40				
年	教科等	題材・単元名	授業者	話合
1	国語	ことばでひらく ものがたりのせかい	森 壽彦	○
2	算数	わかりやすく あらわそう	長濱 和代	○
2	みがく	ききあってかんがえよう	神谷 潤	
3	食育	自分の食をみつめて	足立 愛美	
4	国語	読んで感じたことから	佐久山 有美	
4	理科	温まり方の違い	比樂 憲一	
4	図画工作	くりかえしていたらひらめいた!	堀井 武彦	

学習指導 II 10:00-10:40				
年	教科等	題材・単元名	授業者	話合
1	音楽	からだで楽しむ	下田 愛佳里	○
1	図画工作	「よさ」をかんじる	小沼 律子	○
2	国語	やくわりを考えよう -「ロボット」をもとに-	大村 幸子	○
3	理科	音	草野 健	○
3	てつがく 創造活動	みんなと考えてみよう	河合 紗由利	
4	算数	分数	久下谷 明	○
4	体育	思い通りにならない身体であそぶ	和氣 拓巳	○
5	算数	面積について考えよう!!	富田 京子	○
5	てつがく 創造活動	どう残す?今年の学び	岡田 博元	
6	国語	つたえる うけとる ことば (みちる vs AI)	本田 祐吾	○
6	社会	コロナ時代から学ぶ	片山 元裕	○

*「話合」に○がついている授業は、授業後に話し合いをします。

部会/教科等	協議会の概要/部会のテーマ	共同研究者	コメンテーター
食育部会協議会 14日(金) 10:00 ~ 11:45			
食育	食をみつめる 自分をみつめる	本学 赤松 利恵	調布市杉森小学校 濱松 章洋
課題別協議会 14日(金) 13:15 ~ 14:45			
ともに学ぶ ~個と協働の 往還~部会	本部会では、子どもたちの「ともに学ぶ」姿に注目して研究を進めてきた。「ともに学ぶ」過程にある、他者との関わりや個と協働の往還、教師の役割について、実践の中の姿をもとに話し合いたい。	本学 武藤 世良	開智国際大学 土屋 陽介
子どもの主体性を どう捉えるか部会	「主体的な学び」や「主体性」が大事だとよく聞かすが、イメージするものは人によって様々。先の見えない時代を生きる子どもたちに求められる「主体性」とは何なのか。実際の姿から子どもの主体性を捉え直す。	本学 宮里 暁美	埼玉大学 岩川 直樹
シティズンシップ 教育にかかわる 教師部会	本校のシティズンシップ教育の理念を継承しつつ、目の前の子どものともに歩みながら教育の未来を構想する「過去と未来の間に立つ」教師には、自らのあり方を問い続ける姿勢が求められる。その実践を通して教師のあり方について皆様と考えたい。	本学 齊藤 彩	東京大学 浅井 幸子
学習としての 評価を 考える部会	子どもと教師が学びを共同構成していく『学びをあむ教育課程』では、学習者自身の「学習としての評価」が自覚的に行われることを目指す。教室という空間の中で、学びをあみ直すことにつながる要点や教師の働きかけについて考える。	本学 富士原 紀絵	立教大学 河野 哲也
お茶小の目指す これから部会	子どもたちの興味・関心を大切にしたいプロジェクト型の活動では、随所に主体的な姿が見られた。このような「飼い慣らされない主体性」とならない学びや活動を学校の教育活動全体で進めるあり方について、皆様と考えたい。	本学 池田 全之	白梅学園大学 小玉 重夫

2日目 2月15日(土)

8:30	9:00	9:40	10:00	10:40	11:00	11:45	13:00	13:15	15:00
受付	学習指導Ⅲ		学習指導Ⅳ		学習指導ⅢⅣ話し合い		全体発表		教科別協議会

公開学習指導 15日(土)

学習指導Ⅲ 9:00-9:40					学習指導Ⅳ 10:00-10:40				
年	教科等	題材・単元名	授業者	話合	年	教科等	題材・単元名	授業者	話合
1	みがく	自分たちの生活を自分たちで考える	山賀 愛	○	2	体育	あそびのあられ	神谷 潤	○
2	国語	やくわりを考えよう -「ロボット」をもとに-	大村 幸子		3	算数	分数	河合 紗由利	○
2	みがく	「回る」のけんきゅう	杉野 さち子	○	4	国語	聴き合おう	佐久山 有美	○
3	体育(保健)	気持ちとなかよくなる	江部 紀美子	○	5	国語	アンサンブルを読む	岡田 博元	○
3	国語	みんなでよむ楽しさ	下脇 陽子	○	5	社会	生成AIと向き合う	岩坂 尚史	○
4	国語	表現のおもしろさを見つけて	黒田 英津子	○	5	理科	振り子の運動	比樂 憲一	○
4	てつがく創造活動	自分の生活や学びを見つめて	久下谷 明		5	外国語	Let's Travel the World!	濱 雪乃	○
4	てつがく創造活動	聴く・応える・わかちあう	和氣 拓巳		6	家庭	持続可能な社会と私	築地 晶子	○
5	体育	わたしとあなたで	神崎 芳明	○	6	図画工作	アートカレンダー	堀井 武彦	○
6	算数	比例と反比例	岡田 紘子	○	6	音楽	♪My Music	町田 直樹	○

* 「話合」に○がついている授業は、授業後に話し合いをします。

部会/教科等	部会のテーマ	共同研究者	コメンテーター
教科別協議会 15日(土) 13:15 ~ 15:00			
国語	子どもの“今”からつくることばの学習 -〈感度〉を生かして学びを重ねる-	本学 橋本 陽介	東京大学 藤江 康彦
社会	生活社会を問い直す(3年次)	本学 大脇 和志	元立正大学 石橋 昌雄
算数	「自分事の算数」における 数学的コミュニケーション(4年次)	本学 吉田 裕亮	東京学芸大学 中村 光一
理科	科学的な高まりをつくる共同体	本学 里 浩彰	早稲田大学 佐藤 寛之
音楽	やる音楽	本学 小坂 圭太	千葉大学 本多 佐保美
図画工作	アートメタ認知	本学 埋忠 美沙	東京家政学院大学 立川 泰史
家庭	生活の探究	本学 西村 純子	横浜国立大学 松葉口 玲子
体育	学校で体育をすることの意味(2年次)	本学 水村 真由美	宇都宮大学 石塚 諭
外国語	“世界”とつながる「ことば」の学び(3年次)	本学 西川 朋美	聖徳大学 金 瑠淑

●講演

2月14日(金) 15:10~16:10 大学講堂

「失敗を創造につなげる」 畑村 洋太郎 先生(東京大学名誉教授)

講師紹介:「失敗学」において、失敗に学び同じ失敗を繰り返さないこと、創造につなげることを提唱。専門は、ナノ・マイクロ加工工学、生産加工工学、医学支援工学、失敗学、危険学、創造学。主な著書に『失敗学のすすめ』(講談社 2005)、『創造学のすすめ』(講談社 2003)、『直観でわかる数学』(岩波書店 2004)、『技術の創造と設計』(岩波書店 2006)、『だから失敗は起こる』(NHK出版 DVD+BOOK2007)、『みる わかる 伝える』(講談社 2012)、『老いの失敗学』(朝日新聞出版社 2024) など多数。



●参加費と申込方法

- ・参加費 4,000円 学生 2,000円(資料代、電子決済料を含む)
- ・申込方法 本校ホームページから、申し込みサイト(Peatix)にて事前申込を行ってください。右に掲載されているQRコードからもお申し込みいただけます。
※切は2月9日(日)です。なお、当日受付はできません。予めご了承ください。
詳しくは、本校ホームページ(<http://www.fz.ocha.ac.jp/fs/>)でご確認ください。

●お願い

- ・当日は、申し込みサイト(Peatix)にて発行される入場QRコードが受付時に必要になります。**印刷してお持ちいただくか、電子端末等でQRコードが提示できるようにしてください。**
- ・身分証明書の提示をお願いすることがあります。確認できるものをお持ちください。
- ・大学構内・校舎内でのビデオ撮影・写真撮影、録音はご遠慮願います。
- ・靴カバーは用意しておりますが、環境への配慮から、上履きをご持参ください。
- ・弁当販売は、当日販売のみ行います。数に限りがありますので、売切の際はご容赦ください。なお、大学周辺にも飲食店・コンビニエンスストア等がございます。
- ・大地震等緊急の場合、研究会を中止することがあります。その場合のお知らせは本校ホームページで行いますので、そちらで確認をお願い致します。
- ・学級閉鎖等の場合は、公開内容に変更があります。その際は、当日掲示にてお知らせします。

●会場案内・アクセス

- ・東京メトロ丸ノ内線【茗荷谷駅】より徒歩7分
 - ・東京メトロ有楽町線【護国寺駅】より徒歩15分
 - ・JR山手線【大塚駅(南口)】より都営バス都02系統【大塚二丁目】下車徒歩1分
- ※都02系統は「錦糸町駅」「大塚二丁目」「東京ドームシティ」行きです。
- ※本校に駐車場はありませんので、車での来校はご遠慮ください。



●ご案内

本校では、長期研修を受け入れております。また、校内研究会・講演等についてのご相談も承っております。ご希望の方は、本校に直接ご連絡ください。